

LD・ADHD通級指導教室 自立活動学習指導案

1 題材名 「分かりやすく 伝えよう」

2 指導の立場

(1) 児童の実態（4年生 男子2名）

本校在籍の4年男児2名である。本教室では、ペア活動を行うことで相手の気持ちや立場を考えながら、望ましいコミュニケーション能力を高める活動を意図的に設けている。

A児は、大きな集団の中ではルールを守って生活することができるが、小集団の中では、自分の話したいことを一方的に話したり、相手が話をしている途中で自分の話をしたりしてしまう姿もみられる。また、自分の思いを中心とした言動も見られる。その要因として、場の状況や相手の思いを理解する力の弱さが考えられる。そのため、相手の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動ができるようにしていきたいと考え、ペア活動においては、相手の気持ちを推し量りながら行動することを大切にしている。

B児は、学級遊びに参加したり、近所の仲の良い友達と遊んだりすることはできるが、自分の世界に入り込んでしまうことがある。また、友達に嫌なことを言われるなどのトラブルが起こると、自分の気持ちをうまく伝えられず怒ってしまったり、相手に対して手が出てしまったりすることがあった。そのような行動は、自分の思いを言葉で相手に伝えることの苦手さから起こっていると考えられる。ペア活動では、自分の思いを相手に伝える力を付けていきたいと考えている。

(2) 題材について

発達障がいのある子どもたちは、日常生活の中で自然にソーシャルスキルを身に付けることが難しい。それは、他者とのコミュニケーションの難しさや、一般化することが困難なために一度学んだことを他に応用することの難しさや、社会的認知が困難なために他者のモデルを取り入れることの難しさなどが関係していると考えられる。

本題材では、さまざまな活動を通して「相手の立場や気持ちを考える」「相手に分かりやすく伝える」「内容を整理して話す」「情報を整理して考える」などのスキルを身に付けさせていきたいと考えている。

A児については、相手の話を聞いたり、相手を意識して話したりする活動を通して、相手の立場や気持ちを推し量る大切さに気付けるようにしていきたい。また、お互いを気遣いながら活動することが楽しさにつながっていくことも味わってほしいと考えている。

B児については、順序立てて話をしたり、相手を意識して話をしたりする活動を通して、自分の思いを正しく相手に伝える力を付けていきたい。また、困ったときには言葉で伝えることで解決していく方法があることにも気付かせたい。

3 研究内容に関わって

(1) 人とのよりよい関わり方ができるスキルを身に付けるための指導の工夫

児童の課題や学習内容に関することで、2つの場面絵を用いて違いを見つけさせたり、よりよい行動を選択肢の中から選ばせたりすることで、どうしたらよいかを自ら考えることができるようにしている。また、獲得したスキルについては、短い言葉で表し掲示することによりいつでも生かすことができるようにしている。

(2) 学級との連携の工夫

在籍学級の担任と連絡を密にとり合い、学級でトラブルが起こったときには、その事例に関わる内容をタイムリーに指導することもある。どのような行動をとるとうまくいきそうかを考えたり、短い言葉で合言葉を作ったりして、生活に生かすことができるようにしている。

また、一週間ごとに「がんばること」を決め、担任に評価してもらったことを指導時間のはじめに子どもに伝えることで自己肯定感を高め、在籍学級においてよりよい生活を送ることができるようにしている。

(3) 家庭との連携の工夫

「チャレンジカード」を通し、家庭での様子や頑張り、学校での様子を伝え合っている。保護者に指導の様子を参観してもらったり、指導後の懇談の時間をとったりすることにより、保護者とA児との関係が安定し、落ち着いて生活したり、学習に取り組んだりできるようになってきている。

4 具体的な指導内容

A児

長期指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して話を聞くことができる。 ・思うようにいかないことがあっても、気持ちをコントロールして最後まで仲間と楽しく活動することができる。 ・相手の気持ちを考えた言動をすることができる。
--------	--

選定された項目	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
		情緒の安定に関わること 状況の理解と変化への対応に関すること	他者の意図や感情の理解に関すること	感覚や認知の特性への対応に関すること	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること	状況に応じたコミュニケーションに関すること

本題材での具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習による相互コミュニケーションを通して、自分が話したいことや自分の気持ちを相手に正しく伝えるために必要な諸能力を身に付ける学習をする。 ・相手を意識して分かりやすい説明ができるように、カードを使って話す順序や内容を工夫できるようにする。 ・相手の表情や行動から相手の気持ちを考えて適切な言動ができるよう、ロールプレイを行う。また、実際の活動場面で般化できるよう、段階的に指導する。 ・相手を意識して話を聞く姿勢を大切に、できているときに具体的に褒めることで、相手を意識して話を聞こうとする意欲を高める。
---------------	--

B児

長期指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で集中して課題に取り組むことのできる時間を延ばす。 ・自分の状況や思いを言葉で伝えることができる。
--------	---

選定された項目	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
		情緒の安定に関わること 状況の理解と変化への対応に関すること	自己の理解と行動の調整に関すること	感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること	状況に応じたコミュニケーションに関すること

本題材での具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・話を最後まで聞くことができるよう、話の流れをあらかじめ把握させ、見通しをもって聞くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が困っている状況や自分の気持ちを言語化できるように、ことばのカードを作り、やり取りの場面で使うことにより、言葉で伝えて解決できるようにする。 ・相手を意識してわかりやすい説明ができるように、メモを作成し、話す順序や内容を工夫できるようにする。
---------------	--	---

5 指導の流れ

時	学習活動	A児○ねらい・評価基準	B児○ねらい・評価基準
1	夏休みの思い出を伝える準備をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの子に伝えたいできごとを整理する。 ・ペアを意識して、発表の練習をすることができる ・自分の発表の良さや改善点に気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手を意識してペアの子に伝えることができる。6－(5) ・相手に伝わりやすい声の大きさ、体の向きなどを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手にわかりやすいように内容を整理して話すことができる。6－(5) ・相手にわかりやすいように話の内容を整理して話している。

2	<p>ペアの子に夏休みの思い出を発表しよう</p> <p>「夏休みの思い出発表会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表の仕方や聞き方に気を付けて発表し合う。 相手の発表の仕方や聞き方の良さを見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の発表を最後まで聞き、お互いの発表の良さをみつけることができる。2－(1) 5－(1) 相手の発表を最後まで聞き、良さを見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の方を見て最後まで発表を聞き、感想を言うことができる。5－(1) 3－(4) 相手の方を見て最後まで発表を聞き、感想を言おうとしている。
3	<p>クイズ作りをしよう</p> <p>スリーヒントクイズ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 1つの文を短くする。 相手のことを考えて、3つのヒントで分かるクイズを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズ作りを通して、相手を意識して分かりやすく伝える方法を考えることができる。6－(5) 相手に伝えることを意識してヒントを考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> どんなヒントがあると相手が分かりやすいかを考えてクイズを作ることができる。6－(5) 相手に分かりやすいヒントを考えようとしている。
4	<p>スリーヒントクイズ大会をしよう</p> <p>「スリーヒントクイズ大会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後まで問題を聞く。 手をあげて答えを言う。 相手のクイズの良さを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の問題を最後まで聞いて答えることができる。3－(4) 相手の問題を最後まで聞こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の問題を最後まで聞いて答えることができる。3－(4) 相手の問題を最後まで聞こうとしている。
5	<p>ぶつからないでゲームをしよう</p> <p>「ぶつからないでゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> 目隠しをした相手に具体的な指示を出して離れたところに置いてあるものを取ってくる。 具体的な指示の良さを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアの子が目的の場所に行くように、相手の立場に立って、正確に情報を伝えることができる。4－(5) 相手の立場に立って情報を伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の動きを見ながら、相手に分かりやすいように情報を伝えることができる。6－(5) 相手の動きを見ながら情報を伝えようとしている。
6	<p>質問ゲームをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問をする時のマナーを考える。 <p>「私はだれでしょう (動物)」</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな質問をするとういのか考える。 <ul style="list-style-type: none"> 大きさ 色 食べ物 住んでいるところ 	<ul style="list-style-type: none"> 質問で得られた情報を整理して考えをまとめることができる。2－(3) 質問で得られた情報をメモにとることで、整理しながら考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に応じた言葉を使って話しかけることができる。6－(5) 相手に応じて「○○さん」「すみません」などの言葉を言ってから話しかけることができる。
7	<p>ことばでコピーしよう①</p> <p>「ことばでコピー」</p> <ul style="list-style-type: none"> 見本を言葉で説明して、相手に同じものを作ってもらおう。 図形や線の名前や位置を表す言葉を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に言われたことを図形や線を表す言葉に気を付けながら正しく表すことができる。4－(5) 相手に言われたことを正しく表そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形や線の名前や位置を表す言葉を正しく使って、相手に分かりやすいように情報を伝えることができる。6－(5) 相手に分かりやすいように伝えようとしている。
8 (本時)	<p>ことばでコピーしよう②</p> <p>「ことばでコピー」</p> <ul style="list-style-type: none"> 見本を言葉で説明して、相手に同じ物を作ってもらおう。 困ったときには、相談して解決する。 困っている相手の気持ちを考えて、一緒に解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間が困っている様子に気付くことができる。3－(2) 言葉や表情から相手の困っている様子に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときに、仲間や先生に相談して解決することができる。3－(3) 困ったときに、仲間に相談しながら問題を解決しようとしている。

6 本時のねらい

A児（4年 男）	・相手の言葉や表情に着目し、困っている様子に気付くことができる。3－（2）
B児（4年 男）	・困ったときに、仲間や先生に相談して解決することができる。3－（3）

7 本時の展開

	学習内容	学 習 活 動		◎評価 ☆指導・援助	指導・援助
		A児	B児		
見 通 し を も つ	1. 活動内容を知る。 2. 週のめあての振り返りをする。 3. ミニゲームをする。 ・ジェスチャーゲームをする。 4. なかま活動をする。 ①困ったことが起きたときのように解決したらよいか考える。 ②『ことばでコピー』のルールを確認する。 ③「なかま活動」のめあてを確認する。	・黙って活動内容を書き写し、鉛筆を置いて待つ。 ・週のめあての振り返りをする。 ・先生やお家の方からの言葉を読む。 ・相手の表情や様子をよく見て考えることができる。 ☆イラストを使って具体的な場面を想定し易くする。 ☆いくつかの選択肢を用意し、良い解決方法とその理由を考えることができるようにする。 ☆困っている子の様子に気付くには、言葉や表情に着目することが大切だと考えることができるようにする。 ・言葉や表情に着目すると相手の困っている様子に気付くことができることを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相手が困っている様子に気付く。</div>	・黙って活動内容を書き写し、鉛筆を置いて待つ。 ・週のめあての振り返りをする。 ・先生やお家の方からの言葉を読む。 ・相手に伝わるように表情や様子を工夫することができる。 ☆イラストを使って具体的な場面を想定し易くする。 ☆いくつかの選択肢を用意し、良い解決方法とその理由を考えることができるようにする。 ・困ったことが起きたら、相談するという方法があることを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">困ったことがあったら、相談する。</div>	・手遊びをしないで、話を最後まで聞くことを意識できるように聞き方を掲示しておく。 ・ミニゲームを通して、お互いの様子をよく見て考えられるようにする。	
活 動 す る	④『ことばでコピー』をする。 ・相手に指示がうまく伝わっていない時は、教師が伝わっていないことを指摘する。	・正確に伝えられた時は、指示の良さを具体的に褒める。 ☆B児が指示を出せずに困っている状態に気付いていないときは、B児の表情や様子を見るよう声をかける。 ☆B児の立場に立ち、一緒に考えられた時には、そのよさを具体的に示して価値付ける。 ◎相手の言葉や表情に着目し、困っている様子に気付くことができる。〈3－（2）〉 ・がんばったこと、相手の良かったことを、発表する。	・正確に伝えられた時は、指示の良さを具体的に褒める。 ☆指示が出せずに困ったときは、困っている状況の伝え方や相談の仕方が分かるように黒板に掲示しておく。 ☆ヒントを参考にして自分から相談ができたときにはそのよさを具体的に示して価値付ける。 ◎困ったときに、仲間や先生に相談して解決することができる。〈3－（3）〉 ・がんばったこと、相手の良かったことを、発表する。	・ゲームのやり方、活動内容が分かるように掲示しておく。 ・指示を出す子が困っていたら、指示を聞く子が具体的に質問してあげるなどの協力し合う方法も見つけることができるようにする。	
振 り 返 る	5. 本時の活動を振り返る。	・活動を振り返り、がんばったことを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相手が困っている様子に気づいて一緒に考えることができた。困っている子がいたら、協力して解決できると嬉しいね。</div> ・在籍学級でがんばることを決める。	・活動を振り返り、がんばったことを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はじめは説明できなくて困ったけど、相談したら、うまくいった。困ったときには、相談するといい方法を見つけることができるんだね。</div> ・在籍学級でがんばることを決める。	・本時の取り組みのよさを認め評価する。	

【ポイント①】 (指導形態の工夫)

ペア及びグループ学習は、個々のニーズに応じて意図的に設定する。ペア及びグループ学習を行うことにより、個別学習で身に付けたスキルを使って解決できるような学習を行うことができるよう、メンバーの人選について検討する必要がある。

【ポイント②】 (ねらいの焦点化)

児童の実態をふまえ、「困っている状況が分かるようにしたい。」のか「困っている気持ちが分かるようにしたい。」のか「困っていることの解決法を考えるようにしたい。」のかなど具体的に考え、焦点化する。

6 本時のねらい

A児 (4年 男)	・相手の言葉や表情に着目し、困っている様子に気付くことができる。3- (2)
B児 (4年 男)	・困ったときに、仲間や先生に相談して解決することができる。3- (3)

7 本時の展開

	学習内容	学習活動		◎評価 ☆指導・援助	指導・援助
		A児	B児		
見 通 し を も つ	1. 活動内容を知る。 2. 週のめあての振り返りをする。 3. ミニゲームをする。 ・ジェスチャーゲームをする。 4. なかま活動をする。 ①困ったことが起きたときどのように解決したらよいか考える。 ②『ことばでコピー』のルールを確認する。 ③「なかま活動」のめあてを確認する。	・黙って活動内容を書き写し、鉛筆を置いて待つ。 ・週のめあての振り返りをする。 ・先生やお家の方からの言葉を読む。 ・相手の表情や様子をよく見て考えることができる。 ☆イラストを使って具体的な場面を想定し易くする。 ☆いくつかの選択肢を用意し、良い解決方法とその理由を考えることができるようにする。 ☆困っている子の様子に気付くには、言葉や表情に着目することが大切だと考えることができるようにする。 ・言葉や表情に着目すると相手の困っている様子に気付くことができることを理解する。 相手が困っている様子に気付く。	・黙って活動内容を書き写し、鉛筆を置いて待つ。 ・週のめあての振り返りをする。 ・先生やお家の方からの言葉を読む。 ・相手に伝わるように表情や様子を工夫することができる。 ☆イラストを使って具体的な場面を想定し易くする。 ☆いくつかの選択肢を用意し、良い解決方法とその理由を考えることができるようにする。 ・困ったことが起きたら、相談するという方法があることを理解する。 困ったことがあったら、相談する。	・手遊びをしないで、話を最後まで聞くことを意識できるように聞き方を掲示しておく。 ・ミニゲームを通して、お互いの様子をよく見て考えられるようにする。	
	④『ことばでコピー』をする。 ・相手に指示がうまく伝わっていない時は、教師が伝わっていないことを指摘する。	・正確に伝えられた時は、指示の良さを具体的に褒める。 ☆B児が指示を出せずに困っている状態に気付いていないときは、B児の表情や様子を見るよう声をかける。 ☆B児の立場に立ち、一緒に考えられた時には、そのよさを具体的に示して価値付ける。 ◎相手の言葉や表情に着目し、困っている様子に気付くことができる。(3- (2)) ・がんばったこと、相手の良かったことを、発表する。	・正確に伝えられた時は、指示の良さを具体的に褒める。 ☆指示が出せずに困ったときは、困っている状況の伝え方や相談の仕方が分かるように黒板に掲示しておく。 ☆ヒントを参考にしながら自分から相談ができたときにはそのよさを具体的に示して価値付ける。 ◎困ったときに、仲間や先生に相談して解決することができる。(3- (3)) ・がんばったこと、相手の良かったことを、発表する。	・ゲームのやり方、かき方、ルールを掲示しておく。 ・指示を出す子が困っていたら、指示を聞く子が具体的に質問してあげるなどの協力し合う方法も見つけることができるようにする。	
活 動 す る	5. 本時の活動を振り返る。	・活動を振り返り、がんばったことを書く。 相手が困っている様子に気づいて一緒に考えることができた。困っている子がいたら、協力して解決できると嬉しいね。 ・在籍学級でがんばることを決める。	・活動を振り返り、がんばったことを書く。 はじめは説明できなくて困ったけど、相談したら、うまくいった。困ったときには、相談するといい方法を見つけることができるんだね。 ・在籍学級でがんばることを決める。	・本時の取り組みのよさを認め評価する。	

【ポイント③】
(意識の流れを大切に学習過程の工夫)
ミニゲームは、本時の内容に関わった活動を行うことで、課題意識が途切れることなく学習できるようにする。

【ポイント⑤】
(環境設定)
互いの様子がより分かるように、工夫することが大切。
教師の立ち位置を変えることで、相手の様子に着目し易くすることもできる。

【ポイント④】
(課題の明確化)
前時までの活動を踏まえて児童が自分の課題を把握していると、本時の課題が明確になり、目的意識をもった主体的な活動につながる。

【ポイント⑥】
(単位時間の中での高まりを生み出す工夫)
ゲームの1回目は、教師の助言を受けながら解決する、2回目は、教師の助言なしで行ってから振り返る、3回目は、自分の力で解決できるようにする、といったように、段階的に指導を行う。

【ポイント⑧】 (さらに定着を図るための工夫)
日常生活への般化につなげるために、主な活動の後にもミニゲームなどを取り入れ、身に付けたスキルの適応範囲を広げる。

8 環境設定図



